

座談会

# 私たち、子育て応援隊。

紙面未収録分



みんなの実家「Montprea」前にて

価値観を押し付けられないサポート

山崎 ファミリーサポートセンターでは、育児のサポートを受けた人とサポートしたい人が会員となつて、保護者の通院や外出時などに子どもさんのお預かりを実施しています。

サポートする側は養成講座などを通じて、子どもとの関わり方や地域の子育て支援などを学びます。でも、近年は家族の在り方も考え方も十人十色です。サポートする側がどのようなスタンスで関わるかがとても重要となります。

安全・安心をベースにしながらも「サポートする側の価値観を押し付けない」という点は、特に気を付けています。ただでさえ孤立しがちなママたちに、安心して気軽に「助けて」と声を上げてもらうために。まずはSOSの声を上げてもらいやすくしたいです。

お預かりを通してもっと多面的にサポートが必要と感じた場合は、他の支援へとつなげるお手伝いをするのも、私たちの役割だと考えています。



ママが「共感」し合い、ホッとできる場を

数山 子ども食堂は、集まったみんなで、料理、食事、皿洗い、子どもの見守りなどの役割を、なんとなくシェアできる空間。指導する側・される側に分かれることなくみんながフラットにいられる場所です。

日頃から孤立しがちなママたちには「こうしなさい」という指導ではなく、「分かる、そうだよね」と共感し合える場こそが必要なんだと感じますね。

だからこそ、子ども食堂はいろんなママに利用してほしいと思っています。ママ同士で支え合う場ですから。おしゃべりしたいママも、そつとしておいてほしいママも、気の合う人が一人でも多くいた方が支え合えますし、こういうママにはこういう人の支援の声が届きそう、と感じる場面も多いです。

支え合いには移住者かどうかは関係ないのですが、移住者ママは地元ママの情報に助けられますし、地元ママは移住者ママの情報で気付かされることがたくさんあるんですよ。

地域のみんなで子育てを応援する仕組み

田中 どんなんでもゆつくりと過ごしてもらえるカフェ&イベントスペース「つどい場ゆいまーる」では、お食事やお茶を楽しむことが「子どものくらしサポート」につながる、スタンプカードを使った仕組みを導入しています。お客さんのスタンプカードにポイントのため、投票券にする仕組みで、ギターのレッスン、食事のお届け、子ども支援団体への寄付、などの中から応援したいと思う活動に投票してもらい、売り上げの一部をその活動の資金にしています。

喜ばしいことに、子どもが近くにいない人でも、子どもの暮らしや子育てをサポートしたいという思いを持つ人はとても多いんです。でもそんな方々の温かい思いを、しっかりと子どもたちの元へ届けたいと思っています。

